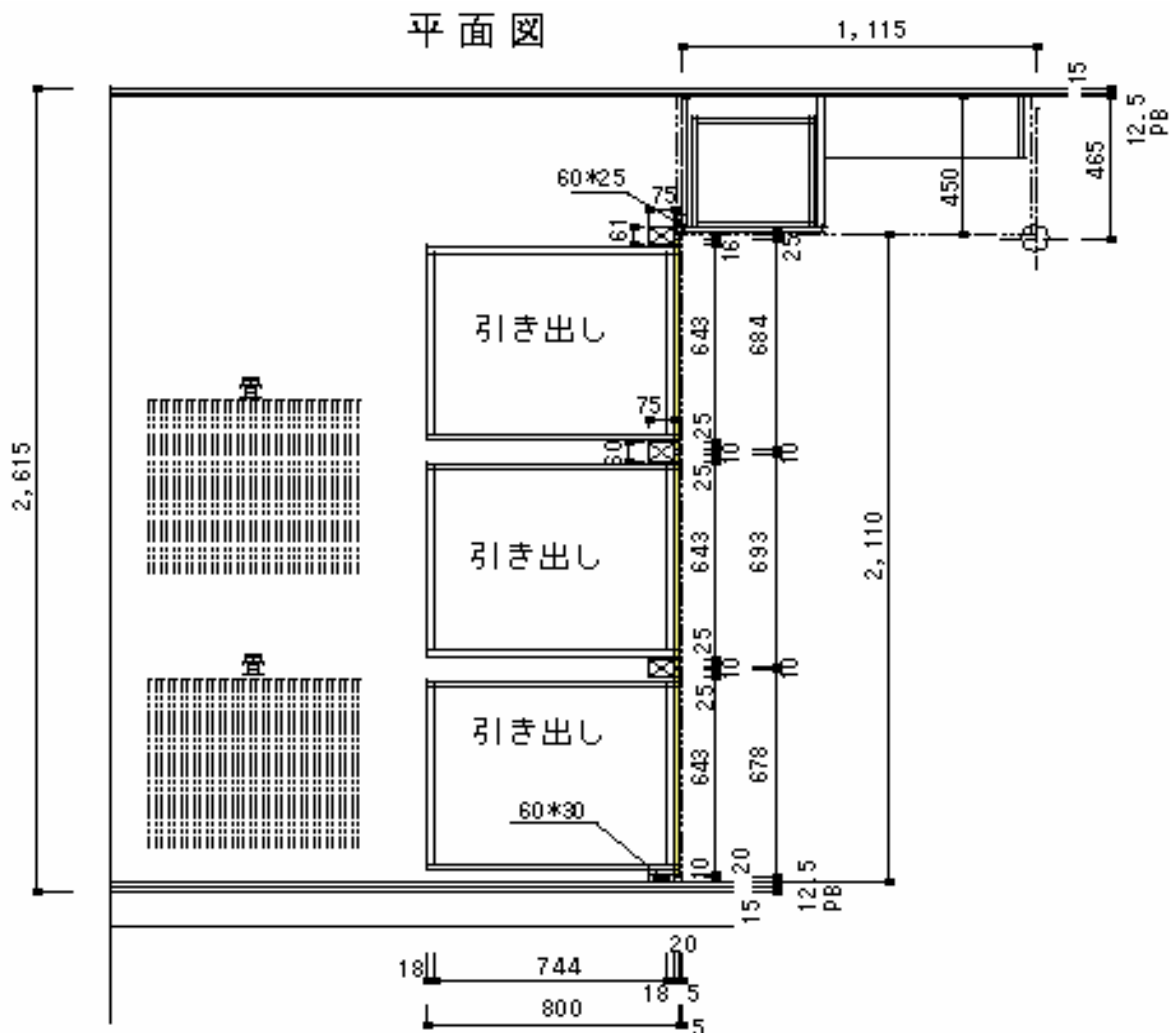


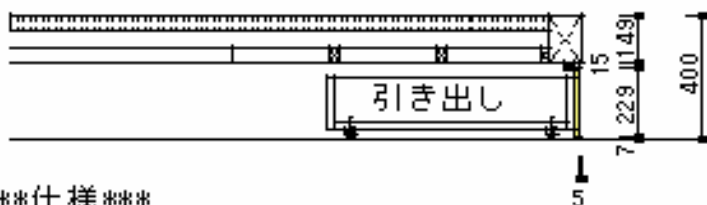
リビング畳コーナー下引き出し収納の事例集

リビングの畳コーナー下にキャスター付きの引き出し収納をよく依頼されます。その際に、収まりをあまり検討していない場合があり、引き出しの割付等が不自然になるケースがあります。

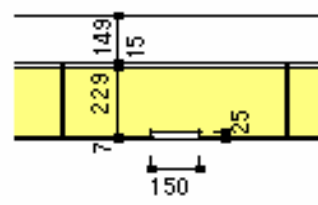
しかし、引き出しの幅は1杯毎に寸法を変えれば済む問題ですが、畳部の框と柱の出入りと、引き出し前板のラインをどこで収めるかが重要です。



断面図



正面図



仕様

変更 天板：珪集成材t30 キャスター：ウルトラ車 420R 耐荷重10KG/個

扉、引き出し前板、箱表：珪柱目突板

引き出し内部：桐材、スライドレール

(株) マルタイ 家具部

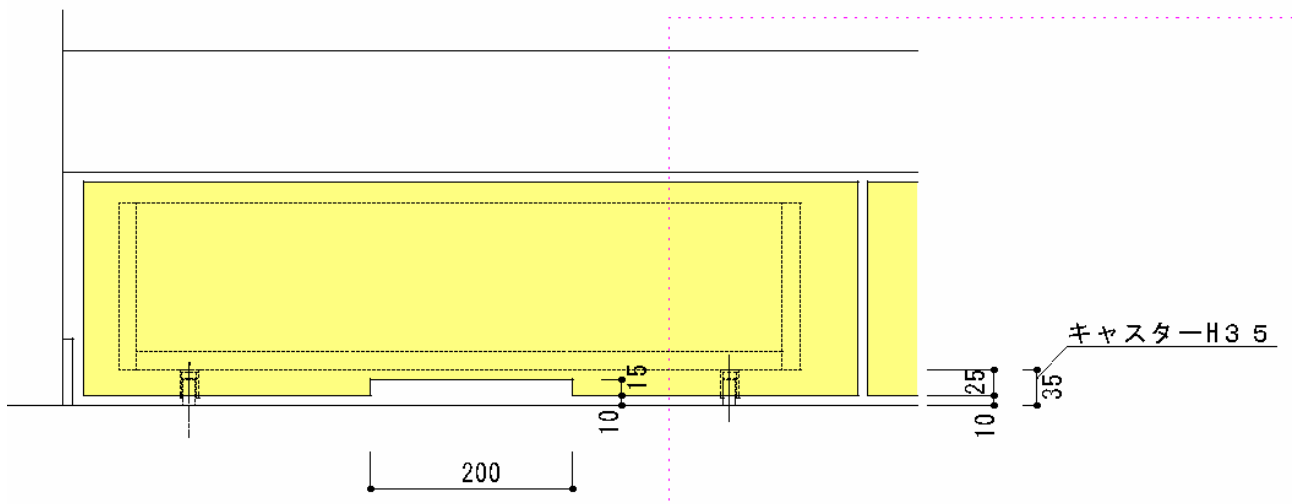


前ページの図面の現場仕上がり状況です。

特に、指示がない場合のマルダイ側からの仕様です。

1. 引き出しの内箱は、シナランバー t 18 を使用します。前板は、設計側の指示で材質、色合わせ致します。
2. キャスターはハンマーキャスター 420R (固定) ウレタン車を使用します。耐荷重 10 kg / 個で引き出しのサイズ、入れる物の重量でキャスターを増やします。このキャスターは H35 と小さく、少しでも引き出し内高を取るのに有効です。また、ウレタン車で床に傷が付きにくい。
3. 引き出しの手掛けは下図のように切り込みます。

引き出し正面図





一般的フローリング時 内箱1770*800でキャスター1杯6個



桐無垢のフローリング時(柔らかい床) 内箱1800*700でキャスター1杯12個使用し荷重を分散させて、床へのへこみ傷を防ぐ。



タイル床時 内箱800*2300で箱のたわみ防止に中仕切りをいれて、キャスター1杯8個使用。フローリングと違い、目地箇所でがたつきが多少発生します。



畳下収納ではありませんが、掃き出し部への階段とベンチを兼ねています。



床と畳の高さが大きい場合です。

中央は踏み板隠し板です。
踏み板の下はフェルトを貼り
前後ろを入れ替え移動し易く
している。



中央部は移動踏み板のセット状況です。

引き出し風に見える収納です。



採寸時状況時の骨組みです。



これは、引き出しではありません。前板のみで框と床でマグネットにて固定している扉です。指掛かりが枠に彫って有ります。それを取れば、中は2方向から入れられる収納庫です。枠はアガ-無垢で鏡板は編み目の籐を貼り付けた物です。

(株)マルダイ家具部 鈴木
平成20年11月9日